

日本－フィリピン国交60周年記念
「日本-フィリピン・ビジネス投資フォーラム」

EPSON
EXCEED YOUR VISION

フィリピンにおけるエプソンの製造拠点戦略について ～Epson Precision(Philippines), Inc.のご紹介～

セイコーエプソン株式会社

執行役員
生産企画本部
渡辺 潤一

2016年11月22日

© SEIKO EPSON CORPORATION 2016. All rights reserved.



1. セイコーエプソングループについて
2. Epson Precision (Philippines) , Inc.
(EPPI)のご紹介
3. エプソン（製造業）から見たフィリピン

1. セイコーエプソングループについて

-会社概要-

商号	セイコーエプソン株式会社
創立	1942年5月18日
本社	長野県諏訪市大和三丁目3番5号
資本金	532億400万円
社長	碓井 稔



代表取締役 社長
碓井 稔



売上収益（連結）

10,924億円（2015年度）

事業利益（連結）

849億円（2015年度）



従業員数

連結 **73,340**人

単体 **12,333**人
（2016年9月30日現在）



エプソングループ会社数

91社（当社含む）

国内 **19**社、海外 **72**社
（2016年9月30日現在）

*グループ会社は当社を含む

*事業利益は売上収益から売上原価、販売費及び一般管理費を控除して算出しており、日本基準の営業利益とほぼ同じ概念

-事業概要-

2015年度連結売上収益（IFRS・連結）：**10,924億円**

（単位：億円,切り捨て）

プリンティングソリューションズ 7,363億円

プリンター



5,189億円

プロフェッショナルプリンティング



2,016億円



PC 他



ビジュアル コミュニケーション 1,840億円



ウェアラブル・ 産業プロダクツ 1,704億円

ウェアラブル機器



607億円

ロボティクスソリューションズ



154億円

マイクロデバイス他



1,018億円

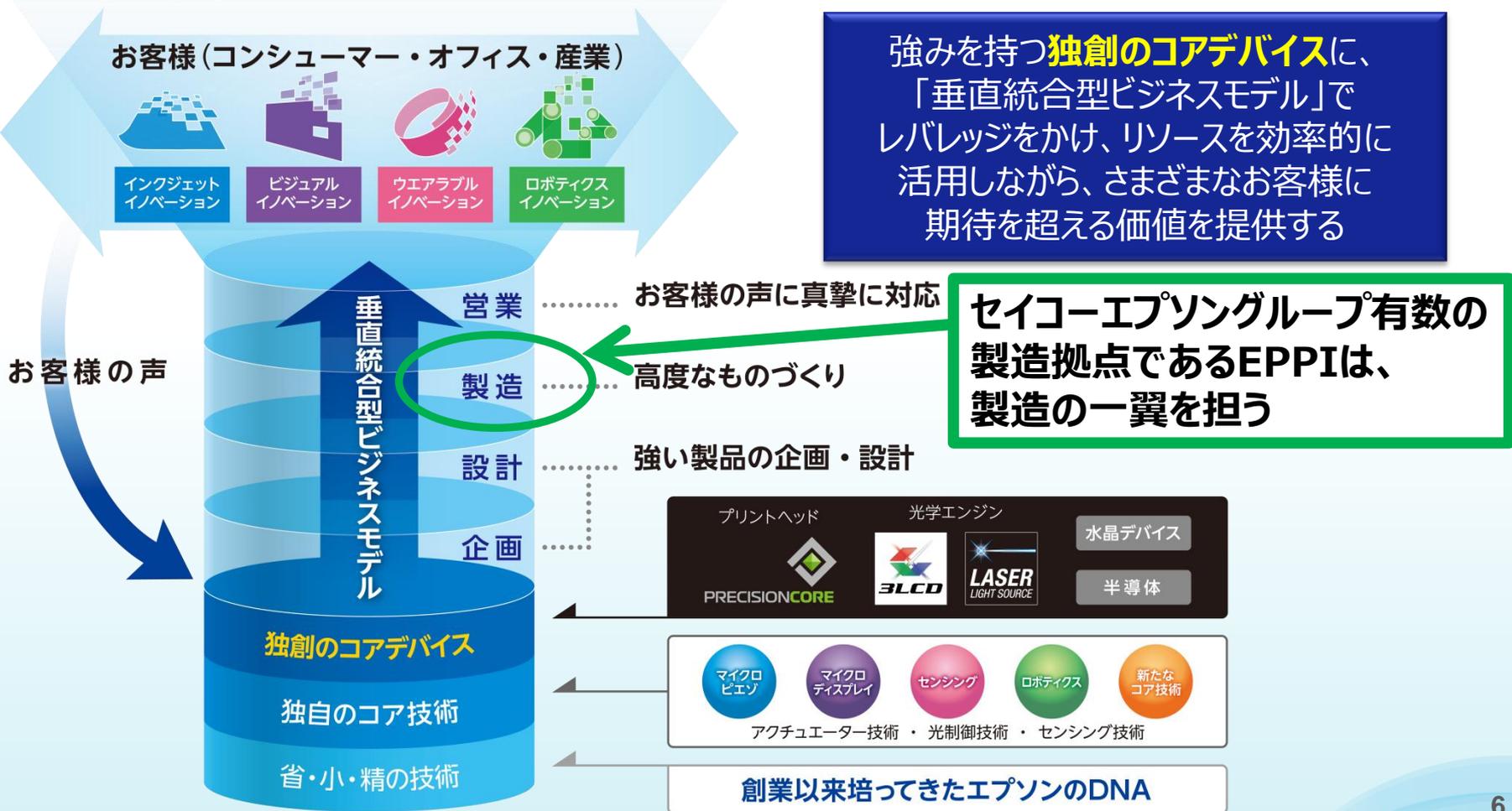


全社・調整額
2億円

その他
14億円

- 注) 1. 各事業セグメント売上は、事業セグメント間取引を含めた売上収益
 2. 各事業セグメント内の売上については、事業間売上を含めた売上収益
 3. 連結売上収益は事業セグメント間取引を相殺した外部売上収益
 4. 2015年度から開示セグメントを変更し、新区分で再計算

-エプソン独創の強み-



強みを持つ**独創のコアデバイス**に、「垂直統合型ビジネスモデル」でレバレッジをかけ、リソースを効率的に活用しながら、さまざまなお客様に期待を超える価値を提供する

セイコーエプソングループ有数の製造拠点であるEPPIは、製造の一翼を担う

営業 お客様の声に真摯に対応
製造 高度なものづくり
設計 強い製品の企画・設計
企画 創業以来培ってきたエプソンのDNA

PRECISIONCORE 3LCD LASER LIGHT SOURCE 水晶デバイス 半導体

マイクロピエゾ マイクロディスプレイ センシング ロボティクス 新たなコア技術

アクチュエーター技術 光制御技術 センシング技術

創業以来培ってきたエプソンのDNA

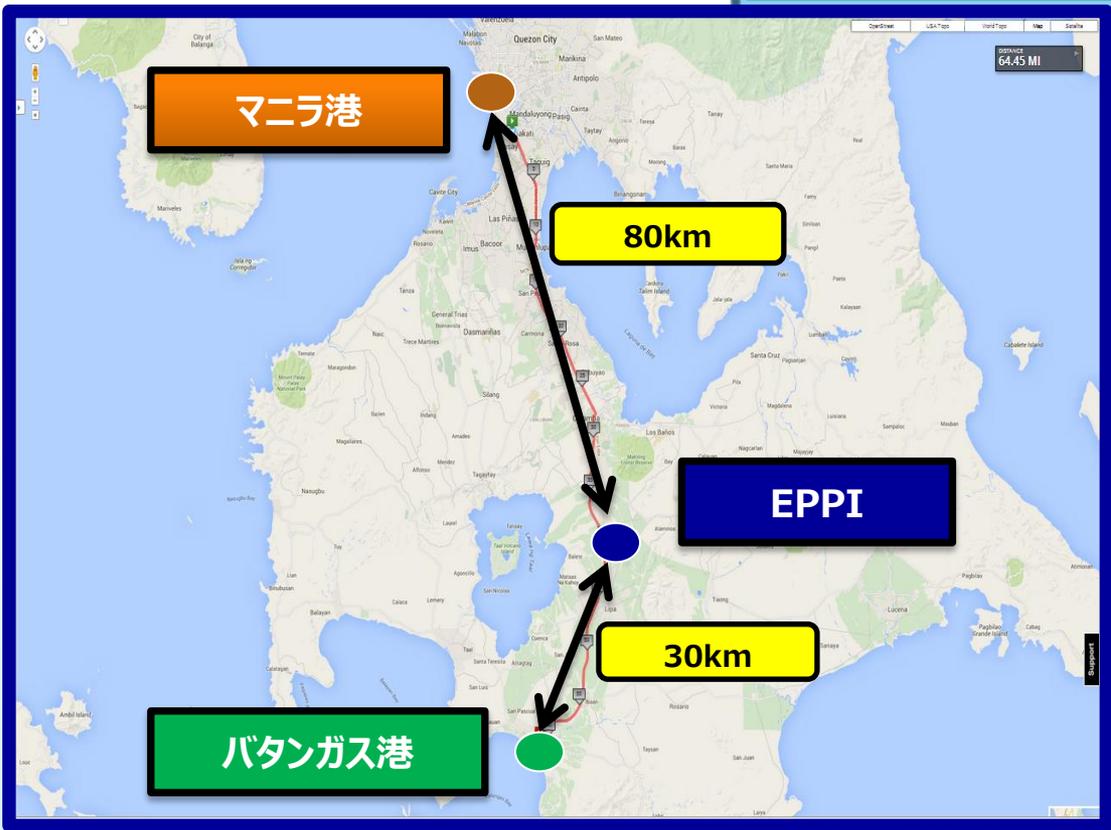
2. Epson Precision (Philippines) , Inc. (EPPI)の紹介

-EPPI 会社概要-

会社名	Epson Precision (Philippines), Inc.
社長	羽片 忠明 (Hagata Tadaaki)
所在地	Lima Technology Center , Lipa City , Batangas, Philippines
創立	1994年12月15日
資本金	USD 157Mill
売上収益	USD 約1,000Mill (FY15 Yearly Total)
事業内容	インクジェットプリンターおよびプロジェクター製造
従業員数	13,779人 (2016年10月20日現在) - 正規 : 7,559人 Provisional : 2,635人 請負 : 3,546人 - 赴任者 : 39人 (スタッフ : 1,528人 オペレーター : 12,251人)

-ロケーション-

Location Map



-EPPi担当製品カテゴリー-

		生産開始時期
1	インクジェットプリンター	1998年
2	プロジェクター	2011年
3	スマートグラス	2012年
4	ラベルライター(LW)	2015年



1.インクジェットプリンター



2.プロジェクター



3.スマートグラス



4.ラベルライター

-建物外観-

敷地面積：130,000m²
旧来使用分

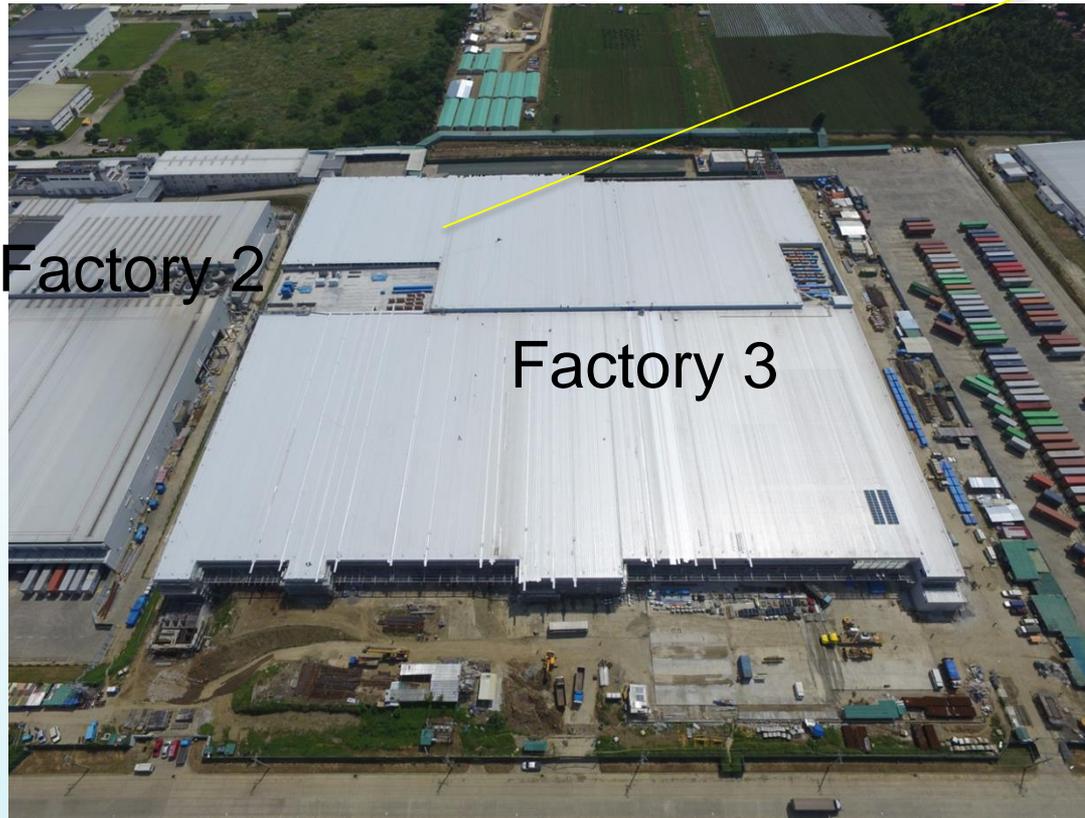
敷地面積：100,000m²
2015年3月~工事開始、2017年7月竣工予定



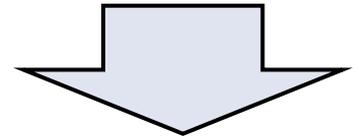
	Factory 1	Factory 2	Factory 3	Total
1F	33,000m ²	22,000m ²	51,000m ²	
2F	3,000m ²	16,000m ²	47,000m ²	
地下			3,000m ²	
Total	36,000m ²	38,000m ²	101,000m ²	175,000m ²

-新工場建物外観-

新工場建物外観



部品の内作機能を強化



豊富で良質な人材を活かし、
**部品製造から組立までの
一貫した製造体制**を構築

グループ内最大の生産拠点
となる。

3. エプソン（製造業）から見たフィリピン

- ①官公庁許認可
- ②人材
- ③調達
- ④物流
- ⑤インフラ

①官公庁認可

■ PEZA（フィリピン経済区庁）の存在

◇魅力的な税制優遇措置

⇒設備や原材料の免税輸入

⇒法人所得税の優遇税率

⇒モノの自由な流れを可能にする特別な関税地域

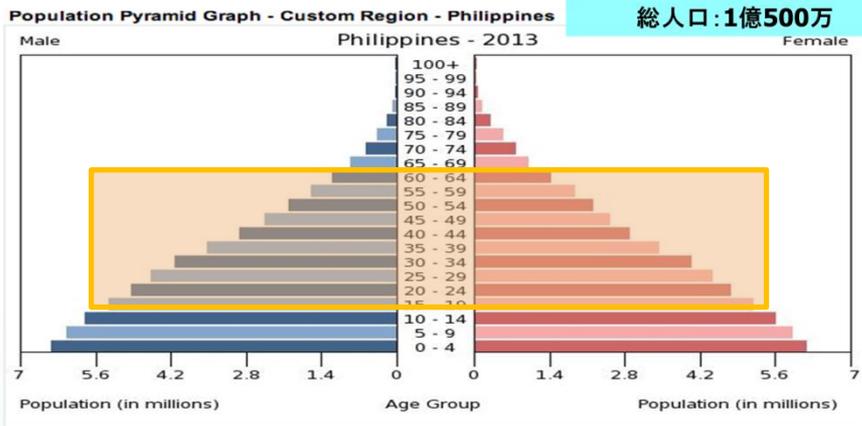
◇PEZAが各省庁の一部権限を有しており、ワンストップサービスにより、新規投資、輸出入時の行政認可のスピードが早い

◇フィリピンではクリーンな省庁として知られている

PEZAの各種措置・対応により、建物・機械設備の新規投資を行い、短期間での工場拡大および増産が実現
⇒引き続きご協力をお願いします。

②人材

■豊富で良質な労働力



人口の64%が生産年齢内（15-64歳）

豊富な労働力

⇒新規就業者数 約200万人/年

フィリピンは若年人口が非常に多く（平均年齢23歳）、人口増加率も高い（約3%）

生産変動に対応した柔軟な雇用体制

フィリピン全体の識字率（2013年） 95.7%

ベトナム 92.8% インドネシア・ミャンマー 92.0%

※ 出典：2013年国連人間開発報告書

英語を話す人口は世界第3位

英語が公用語であるため、簡単な意思疎通はオペレーターレベルまで比較的容易

②人材

■フィリピンの学歴レベル

フィピン全体の学歴（2010年政府統計）

小学校入学 約96% 小学校卒 約72.1% 高校卒 46.0%

大卒（College含む） 約10.8%（理工系22.8%・その他事務系77.2%）

⇒ **言い換えると全体の2.4%しか理工系大卒がない**



<当社の期待>

- 部品製造等の「ものづくり」を現地で強化するためには、優秀な人材が必要であり、理工系の教育レベルの向上が必要
- 理工系教育機関の増設、日本からの技術者支援による教育インフラの拡充

③調達

■ 調達の状況

(プリンター以外の) セットメーカーが少ないため、中国、タイ、インドネシア等に比べ、サプライヤーの裾野が狭い
⇒エプソンでは、特に電気・電子部品、光学部品など重要基幹部品および原材料について海外からの調達を実施

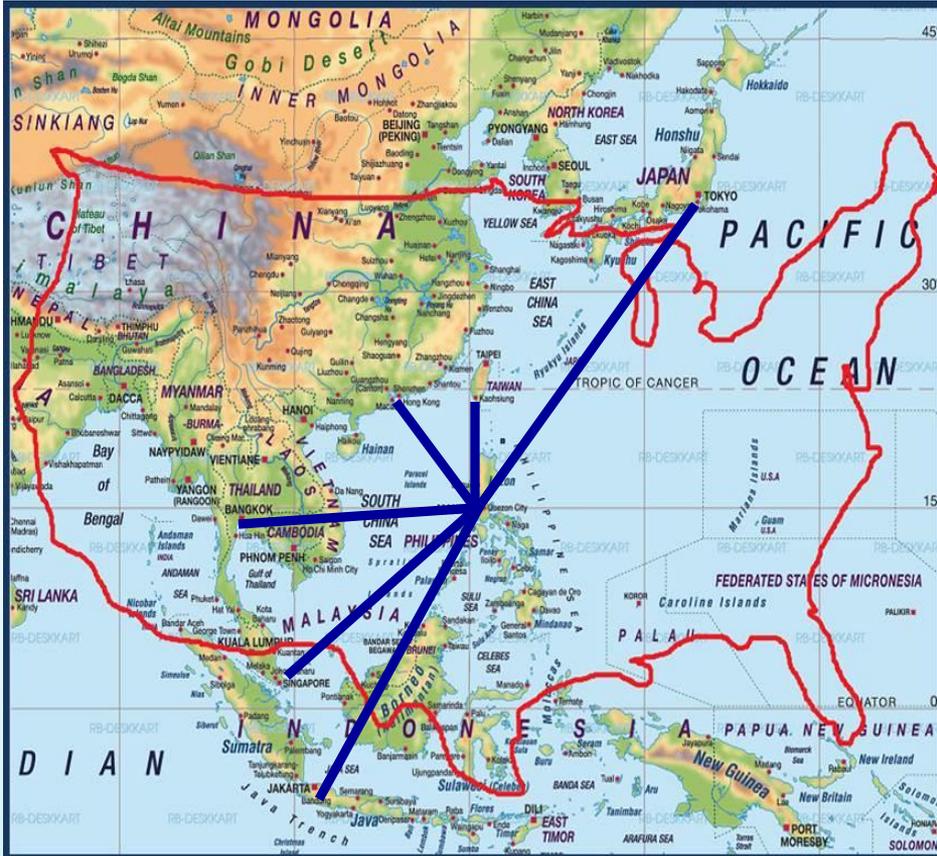


<エプソンの期待>

- フィリピン国内におけるサプライヤーの拡充が必要
- サプライヤー進出に当たっての投資環境の整備
⇒官民合わせた誘致施策の展開(今日のようなセミナーも..)

④物流

■ 東南アジアの中心に位置するロケーション



現地調達できない原料・資材・部品等は日本・中国沿岸部・ASEANからの輸入となる。また、輸出も全て国際ハブ港経由となる。

国を跨ぐため遠いイメージとなるが、その広さは実は米国とほぼ同等であり、その中心に位置するフィリピンは、地理的には優位性がある。

(エプソンは製品自体が小さいため、それほどのハンデとはならない。)

④物流

■ 港の状況

◇ マニラ港

貨物の増加に加え、2014年にトラック規制、渋滞などの道路交通事情により混乱が発生(⇒現在は問題なし)

◇ バタンガス港

現在の2倍の処理能力までの拡張計画あり



<エプソンの期待>

- エプソンとしては、拡張性・距離・渋滞状況を考慮しバタンガス港活用率向上を目指す
- 港湾インフラ増強のスピードアップ(日本からの支援も・・・)

⑤インフラ

■ 電力

- ◇ 電力供給が不安定（停電回数：瞬間低電含めて、年 5～6回）
EPPIがあるリマ工業団地は、首都圏から離れているためか
送電網がいまだ十分でなく、バックアップが若干脆弱
⇒社内に発電機を7機備え、フルバックで対応



<エプソンの期待>

- 進出企業が増える中、電力供給の安定化が必要
- 発電所の増設(日本からの援助も……)

まとめ（フィリピンへの期待）

要素	期待	施策
人材	理工系ローカル人材の育成	理工系教育機関の拡充 日本からの技術者支援等のインフラ強化
調達	周辺サプライヤーの拡大	日系企業の投資促進 ・ PEZAによる誘致 ・ JETRO等の支援
物流	安定した港湾物流 交通渋滞の緩和	パタンガス港のインフラ強化
インフラ	安定した電力供給	発電所の建設

引き続き、フィリピンとともに発展をさせていきたいと思っておりますので
よろしくお願いいたします。

EPSON
EXCEED YOUR VISION

ご清聴ありがとうございました。